

『ルカ 72 — 十二人の派遣』

武田真治牧師

列王記上 17:22~18:2 ルカ福音書 9:1~6

今日の聖書の箇所、9章1節は「イエスは十二人を呼び集め、あらゆる悪霊に打ち勝ち、病気をいやす力と権能をお授けになった」ですが、ここは以前の『口語訳聖書』では「それからイエスは十二弟子を呼び集めて、彼らに〜」と訳されていました。明確に違っている点として、かつては「十二弟子」と表現されていたものが「十二人」とある点です。原文には「弟子」も「人」もなく単なる「十二」です。小さなことと思われるかも知れませんが、実は重要で、彼らをとことん特別扱いする傾向がこの後のキリスト教で、守護聖人や信徒の序列を生んで行った歴史があるからです。この箇所でイエス様が与えられた「あらゆる悪霊に打ち勝ち、病気をいやす力と権能」は、同じイエス様の弟子である私たちにも与えられている“権能=権威・権利”であるのです(万人祭司)。

少なくとも、この後に続く「神の国を宣べ伝え、病人をいやすために遣わす」と言われている点は、すべてのキリスト者に向けてイエス様から“託されている働き”ではないでしょうか。《伝道と癒し》を各々の場所で行うようにと。まさに各々の場所へイエス様が「遣わす=派遣される」ことをしてくださっているのだと。故に、上記の“イエス様の弟子である権能”が誰にも与えられていると言い得ます。しかも、ここで「病人を」という言葉もまた原文にはなく、単なる「癒すために」ですから、身の回りの人々や状況を「癒す」、そしてこの世を「癒す」働きをも、私たちが今もイエス様から託されている“働き”だと言い得るのです。

ただ、そのような“派遣”をされるに当たり、なんとイエス様は「(その伝道の)旅には何も持って行ってはならない。杖も袋もパンも金も持ってはならない。下着も二枚は持ってはならない」と言われておられるのです。厳しい教えです。勿論、ここはまだ弟子たちの“訓練”という意味もあるのでしょう。ただこの教えは、①頼る物を持って行くな(=お金やパン、二枚目の下着も質に出して食べ物等と代えることが

出来る)という意味と、②行ったその場所に馴染め(そこでの食事や生活を)という意味でしょう。それが次の「どこかの家に入ったら、そこにとどまって、その家から旅立ちなさい」にも表れています。信仰のみに頼り、その地で生きよ!

しかし、その一方でイエス様は次に「だれもあなたがたを迎え入れないなら、その町を出ていくとき、彼らへの証しとして足についた埃を払い落としなさい」とも言われています。どうも無理そうだと思ったら、早々とその地を後にして、次の町へ向えと。石に噛り付いてもこの場での務めを全うしろとは言われていないのです。これは、イエス様が結果や成果を上げることよりも、私たち自身のことを考えてくださっている証拠ではないでしょうか。ひとつの場所でダメだったから、自分には力がない、才能がない等と決めつけなくていいよと。大事なことは続けて行くことなのだ。

【今週の集会】

- *聖書研究・祈祷会 I. 4月1日(水) 20:00
- II. 4月2日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記
 祈祷主題: イースターを覚えて
 担当者: (水) MY (木) KY
 祈りに覚える人 KYさん KNさん

【教勢報告】

主日礼拝 男20 女55 計75
 祈祷会 I. 男2 女1 計3 II. 男1 女4 計5
 日曜学校 幼稚科10 小中科12 計22
 ハンナの会<3月17日(火)> 男2 女7 計9

【次週イースター礼拝】 3月29日(日)

聖書: エゼキエル書 20:33~37
 ヨハネによる福音書 6:37~40
 説教: 「復活日礼拝—牧者の杖の下を
 通らせて導く」 武田真治牧師

讃美歌: 333(1)、32、聖歌隊(318)、326、531、

【次週当番表】 325(1~2)、39—6(1)

司式: IK長老 奏楽: NY 礼拝: HS長老
 配餐: SY HS HN AS各長老
 献金: OY KA 受付: NE MH
 会堂準備: AA AT SM YE
 看板: HS 週報: II お花: MH

【次週集会予定】

- 礼拝前: ・日曜学校 ・聖書輪読会 ・求道者会
- 礼拝後: ・誕生者祝福 ・イースター愛餐会
- ・会堂管理委員会 ・長老会

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2026年 3月 29日

日本キリスト教団 上尾合同教会
 牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
 TEL&FAX 048-771-6549